

言語環境の整備について

児童生徒の言語活動は、児童生徒を取り巻く言語環境によって大きな影響を受ける。そこで、言語活動の充実を図るためには、学校全体における言語環境を望ましい状態に整えておくことが大切である。



1 学習指導要領解説に示された「言語環境の整備」の視点

- ① 教師は正しい言語で話し、黒板などに正確で丁寧な文字を書くこと
- ② 校内の掲示板やポスター，児童（生徒）に配布する印刷物において用語や文字を適正に使用すること
- ③ 校内放送において，適切な言葉を使って簡潔に分かりやすく話すこと
- ④ 適切な話し言葉や文字が用いられている教材を使用すること
- ⑤ 教師と児童（生徒），児童（生徒）相互の話し言葉が適切に行われるような状況をつくること
- ⑥ 児童（生徒）が集団の中で安心して話ができるような教師と児童（生徒），児童（生徒）相互の好ましい人間関係を築くこと

2 発達の段階に応じた発表話型の工夫

今回の学習指導要領の改訂においては、言語に関する能力の育成を重視し、各教科等において言語活動を充実することとしている。国語科だけではなく、各教科においても、説明する活動を行うことなどが求められている。

そこで、例えば、説明する活動を行う際に各教科で活用できる話型を示し、活用できるようにする工夫も必要である。

【「説明」する言語活動を意識した話型】

- ① ○○と考えた理由は・・・(理由の提示)
- ② まず、次に・・・(順序)
- ③ 前に習った○○を使って考えると・・・(根拠)
- ④ これからきまりを見つけると・・・(規則性)
- ⑤ 例えば・・・(例示)
- ⑥ 同じところは・・・(類似)
- ⑦ ちがうところは・・・(相違)
- ⑧ もっとわかりやすいのは・・・(難易)
- ⑨ さらによい方法は・・・(改良)

3 読書活動の充実

児童生徒がたくさんの言葉に触れ、語彙を豊かにしたり、すばらしい表現に関心をもったりするためには、読書活動の充実が重要である。

(1) 教科書教材と関連する図書などの紹介や並行読書の実施

教科書教材と関連する図書などを把握し紹介したり、並行読書や比べ読みなどの活動を取り入れたりすることで、児童生徒が多くの本に触れる環境を作ることが大切である。

【関連図書一覧表の例】

4年国語関連図書(物語・説明文単元)				
学期	教材名	関連図書名	作者名	出版社名
1	白いぼうし	車の色は空の色 星のタクシー	あまんきみこ	ポプラ社
		車の色は空の色 白いぼうし	あまんきみこ	ポプラ社
		小さなお客さん	あまんきみこ	全国学校図書館協議会
		続 車の色は空の色	あまんきみこ	ポプラ社
2	一つの花	おかあさんの紙びな	長崎源之助	岩崎書店
		おこりじぞう	山口勇子	新日本出版社
		とうろうながし	松谷みよ子	偕成社
		ほたる	山本真理子	岩崎書店
		わたしのヒロシマ	森本順子	金の星社
		戦争と平和 子ども文学館		日本図書センター
2	アップとルーズで伝える	情報の選び方・使い方全五巻	中村司 監修	ポプラ社
		崩壊する映像神話	新藤健一	筑摩書房

(2) 学校図書館の積極的な活用

学校図書館を計画的に利用し必要な本や文章などを選ぶことができるように指導することで、児童生徒が日常的に読書に親しむ環境づくりも必要である。